



## 事業内容

株式会社マキオは、「A-Z」の屋号で阿久根市、南九州市、霧島市に店舗があります。24時間営業、地域密着の生活必需品を揃える大型小売業です。食品・衣料品・DIY・車販売など30以上の部門があり、品揃えは40万アイテム以上、集客数は1店舗あたり年間約650万人です。



## ●学生サポーター的魅點●

社員の自主性を尊重し、地域や商品に  
関わる全ての人々を大切にする企業

A-Zは地域に住むお客様の生活必需品を幅広く取り揃えており、24時間、年中無休営業で地域にとって無くてはならない存在です。お客様の声を聞いて商品を取り揃えるなど、地域の人々との距離が近いことも、A-Zが愛される理由の一つだと思います。



入社4年目  
武内 遥香さん

## マニュアルが無いことのやりがい

入社4年目の武内さんは「A-Zあくね」の飲料・お酒コーナーを担当しています。小売業としては珍しくA-Zには業務上のマニュアルがありません。自分が気づいたところや改善点をすぐ現場に反映できる点に魅力を感じているそうです。また、お客様から商品について質問を受けた際に迅速に対応できた時や、買い物の手伝いをして感謝の言葉をかけてもらった時にやりがいを感じると話します。

## 地元で働く魅力

阿久根で生まれ育った多くの人にとって、A-Zは帰省の際に立ち寄るなど地域の中心的存在となっています。働くなかで新しい発見や多くの人の出会いが生まれることで、地元への愛着をさらに深められる点が魅力だといいます。

## 働きやすい環境

明るく元気で活発な人が多い職場なので、武内さんも自然とやる気を持ち続けることができるそうです。将来的には、後輩にしっかりと仕事を指導できるように業務への理解を深めたいと話します。





取締役  
田村 修野さん

## 地域のためのA-Z

創業者の牧尾英二（故人）氏は、買い物に不便を感じる地域の方々のために A-Zを創業しました。それまでは、食べ物を買うなら食料品店など複数の店を回る必要がありました。また、過疎化が進む地域では価格も都市部と比べると高止まりする傾向にあったそうです。そこで牧尾氏は、1店舗で全ての品物が揃い価格も抑えたワンストップショッピングができる店舗を地元に作ろうと考えました。そうして1997年にオープンしたのが「A-Zあくね」です。

## 「素人集団」の強み

今では多くの従業員がいる A-Zですが、創業当初はそれまで小売経験の無い主婦らが主なスタッフでした。だからこそ、家庭の味に近いお惣菜を提供できるなど強みが生まれたそうです。

## 自主性を重んじる、マニュアルのない職場

A-Zには業務上のマニュアルがありません。それは従業員一人ひとりの自主性を重んじ、臨機応変に対応する力を身につけるためでもあるそうです。「答えはお客様が教えてくれる」と、田村さんは話します。マニュアルに頼るのではなく実際のお客様の声を聞いて動く、ということを大事にしているそうです。



● 創業者の牧尾英二氏（故人）

## ＼ 学生へのコメント ／

鹿児島の小売業は、地元の大自然の中で育った海の幸・山の幸をはじめ、色々な商品をお客様に提供する仕事です。作物・加工品を納品する納入業者とその品物を買っていただくお客様の出会いの場を提供する仕事です。カレンダー通りの休みが取りにくいこともあります、お客様の笑顔が見られる事にやりがいを感じます。人生の選択の1つに「小売業」ありだと思います。

（株）マキオ 大田一成さん



### 取材後の感想



樋田 和伸さん

「A-Zあくね」では、生活必需品から仏壇、車など幅広く取り揃え、地域の暮らしを全て支えるという姿勢を取材から感じました。また地方の小都市という立地でありますながら、24時間営業を行うことで幅広い顧客層に対応しており、地域の人々の生活に寄り添っている点に大きな魅力を感じ、地域やお客様を第一に考える経営姿勢に企業としての温かさや社会的責任を強く感じました。



漢那 稔来さん

マニュアルがないのは大変そうだと最初は思っていました。しかし、取材を通して、マニュアルが無いことで枠にとらわれず、社員一人ひとりがお客様のことを思い、考え、行動に移すことができるのだと感じました。お客様を始め、納入業者、社員、全ての人を大切にしているからこそ、愛される企業になるのだと思いました。



竹村 美夏さん

「A-Zあくね」には私自身、幼い頃から何度も訪れたことがあります、その広大な店舗と目移りするほど豊富な品数には、来る度にワクワクしていました。その広さと品数は未だ健在、それどころかさらにパワーアップしており、取材中も童心に返った気分になりました。品数や広さだけでなく、温かい職場の雰囲気や、お客様に寄り添い、地元から愛されるお店づくりなど、惹かれるものが多くありました。A-Zの様々な魅力を知ることができ、大変有意義な取材となりました。



賀好 凌治さん

AからZまで何でも揃うという言葉は本当にでした。ニッチな商品で言うと、大きな壺や仏壇、五右衛門風呂まで販売していました。このようなものまで取り揃えるのは、ひとえにお客様の声を第一にしているからであり、これが地域に愛される理由の一つなのだろうなと感じました。

